

UTF™ Reduced Stem

Femoral Hip System



Surgical Technique Guide



Each Step
We Care

Table of Contents

製品情報	II
手術手技 Overview.....	IV
手術手技	
術前計画とテンプレティング	1
A. 大腿骨頸部骨切り.....	2
B. 大腿骨髄腔の開孔.....	3
C. スターターリーミング	4
D. ラテラライジング.....	5
E. 大腿骨のブローチング	6
F. トライアルによる仮整復.....	7
G. ステムの挿入	8
H. ステムのインパクション	9
I. 大腿骨ヘッドのインパクション	10
オーダーリングインフォメーション.....	11

製品情報

UTF (United Tapered Fit) Reduced Stem –

プライマリー人工股関節置換術用のデュアルテーパーウェッジシステムである UTF Reduced ステムは、近位 M/L 幅が特徴的で、骨幹端部に適切にフィッティングするよう考慮されています。スリムなボディとブローチングのみの手技により、骨温存が可能です。

個々の患者の解剖に応じて適応

- 16 種類のサイズ
- ”スタンダード” および”ハイオフセット” ネックオプション
- 最大 12 種類のネック長が選択可能

INDICATIONS

この製品は以下の条件で、プライマリーやリビジョンの人工股関節全置換術、または人工骨頭置換術で使用することを想定されています。

1. 変形性関節症、血流阻害による骨壊死、強直股、寛骨臼底突出症、および痛みを伴う股関節形成不全などの非炎症性変形性股関節疾患
2. 関節リウマチなどの炎症性変形性股関節疾患
3. 変形による機能不全の改善
4. 他の治療方法で行った、大腿骨頸部骨折後の偽関節、大腿骨頸部骨折および、転子部骨折
5. 他の治療方法で成果が得られなかった場合のリビジョンでの使用
6. セメントレス向けのデザイン

禁忌、警告、注意事項、およびこれらに限定されない重要な製品情報については、添付文書を参照してください。

大腿骨ヘッド

**BIOLOX® *delta*
Ceramic Head**



カタログ番号	サイズ (mm)	ネック長
1203 - 5028	Ø 28	S - 2.5
1203 - 5228	Ø 28	M + 1
1203 - 5428	Ø 28	L + 4
1203 - 5032	Ø 32	S - 3
1203 - 5232	Ø 32	M + 1
1203 - 5432	Ø 32	L + 5
1203 - 5632	Ø 32	XL + 8
1203 - 5036	Ø 36	S - 3
1203 - 5236	Ø 36	M + 1
1203 - 5436	Ø 36	L + 5
1203 - 5636	Ø 36	XL + 9

*BIOLOX® は Ceramtec 社の登録商標です。

大腿骨ヘッド

U2 Femoral Head



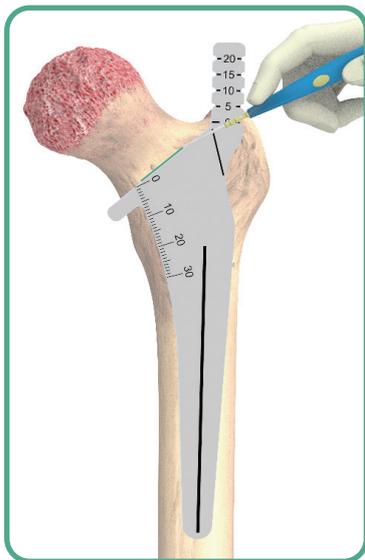
カタログ番号	サイズ (mm)	ネック長
1206 - 1122	Ø 22	+ 0
1206 - 1322	Ø 22	+ 3
1206 - 1522	Ø 22	+ 6
※ 1206 - 1722	Ø 22	+ 9
1206 - 1028	Ø 28	- 3
1206 - 1128	Ø 28	+ 0
1206 - 1228	Ø 28	+ 2.5
1206 - 1428	Ø 28	+ 5
※ 1206 - 1628	Ø 28	+ 7.5
※ 1206 - 1828	Ø 28	+ 10
1206 - 1032	Ø 32	- 3
1206 - 1132	Ø 32	+ 0
1206 - 1232	Ø 32	+ 2.5
1206 - 1432	Ø 32	+ 5
※ 1206 - 1632	Ø 32	+ 7.5
※ 1206 - 1832	Ø 32	+ 10
1206 - 1036	Ø 36	- 3
1206 - 1136	Ø 36	+ 0
1206 - 1236	Ø 36	+ 2.5
1206 - 1436	Ø 36	+ 5
※ 1206 - 1636	Ø 36	+ 7.5
※ 1206 - 1836	Ø 36	+ 10

※オプションサイズとなります。

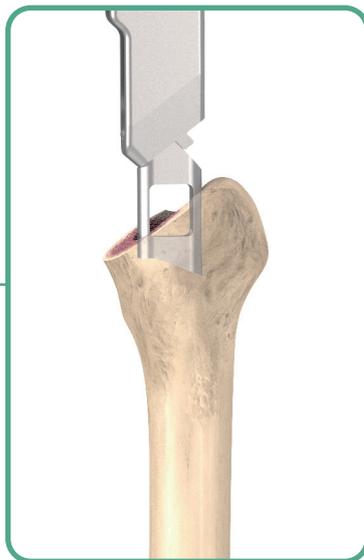
※ 22mm メタルヘッドの実際の径は 22.2mm です。



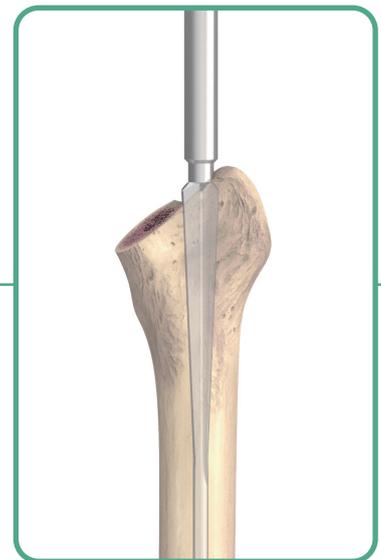
Surgical Overview



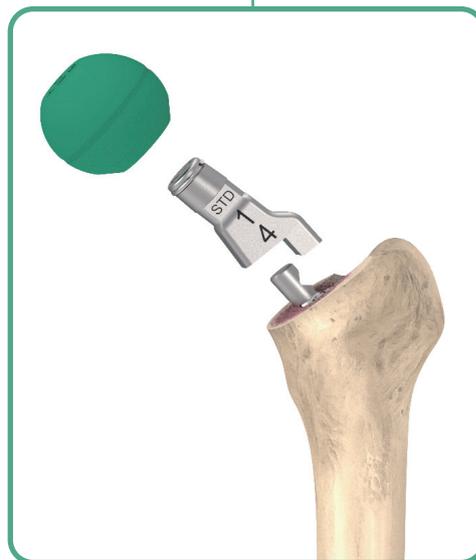
A. 大腿骨頸部骨切り



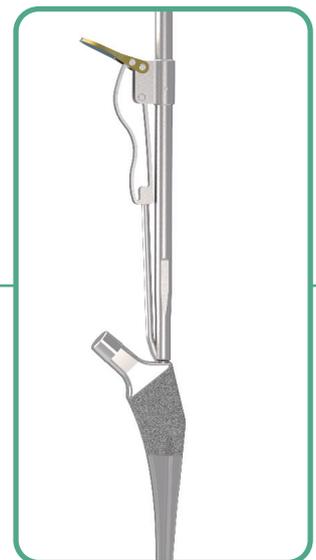
B. 大腿骨髄腔の開孔



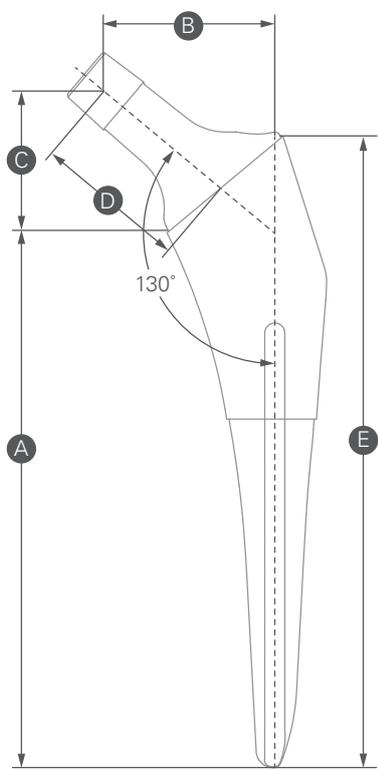
C. スターターリーミング



F. トライアルによる仮整復



G. ステムの挿入



尺码	A 内側 尺码	B オセット	C ネック高さ	D ネック長	E 外側 尺码
スタンダード					
#00	95	32	25.9	28	114
#0	100	32	26.2	28	120
#1	105	32	26.5	28	125
#2	107	33	27.6	29	128
#3	110	34	28.4	30	131
#4	113	35	29.3	31	134
#5	116	36	30.1	32	137
#6	118	37	31.0	33	140
#7	120	38	31.8	34	142
#8	122	39	32.6	35	144
#9	123	39	32.7	35	146
#10	126	41	34.3	37	149
#11	128	42	35.1	38	152
#12	131	43	36.0	39	155
#13	133	44	36.7	39.5	158
#14	135	45	37.2	40	161
ハイオセット					
#0	100	38	26.3	32	120
#1	105	38	26.6	32	125
#2	107	39	27.6	33	128
#3	110	40	28.5	34	131
#4	113	41	29.3	35	134
#5	116	43	30.1	37	137
#6	118	44	31.0	38	140
#7	120	45	31.8	39	142
#8	122	46	32.6	40	144
#9	123	47	32.7	40	146
#10	126	49	34.3	42	149
#11	128	50	35.1	43	152
#12	131	51	36.0	44	155
#13	133	52	36.7	45	158
#14	135	53	37.2	45.5	161

単位 :mm

オーダリングインフォメーション

カタログ番号

ステムサイズ

スタンダード



※	1106 - 3099	# 00
※	1106 - 3000	# 0
	1106 - 3001	# 1
	1106 - 3002	# 2
	1106 - 3003	# 3
	1106 - 3004	# 4
	1106 - 3005	# 5
	1106 - 3006	# 6
	1106 - 3007	# 7
	1106 - 3008	# 8
	1106 - 3009	# 9
	1106 - 3010	# 10
	1106 - 3011	# 11
※	1106 - 3012	# 12
※	1106 - 3013	# 13
※	1106 - 3014	# 14

カタログ番号

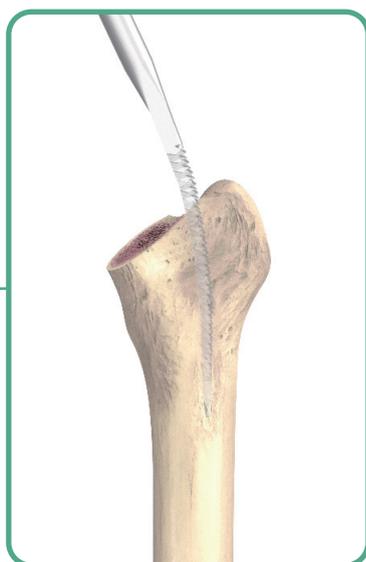
ステムサイズ

ハイオフセット



※	1106 - 3200	# 0
	1106 - 3201	# 1
	1106 - 3202	# 2
	1106 - 3203	# 3
	1106 - 3204	# 4
	1106 - 3205	# 5
	1106 - 3206	# 6
	1106 - 3207	# 7
	1106 - 3208	# 8
	1106 - 3209	# 9
	1106 - 3210	# 10
	1106 - 3211	# 11
※	1106 - 3212	# 12
※	1106 - 3213	# 13
※	1106 - 3214	# 14

※オプションとなります。



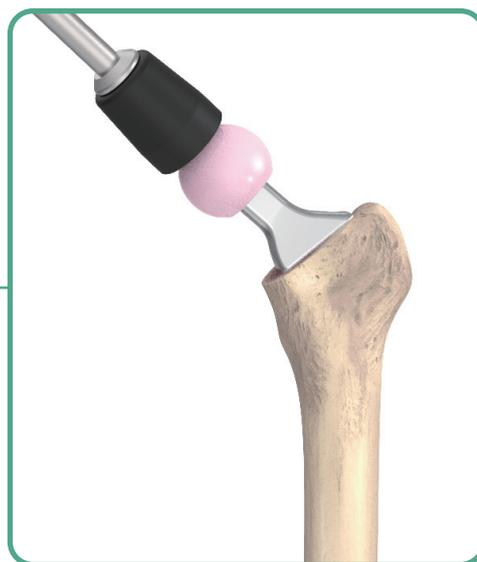
D. ラテライジング



E. 大腿骨のブローチング



H. ステムのインパクション



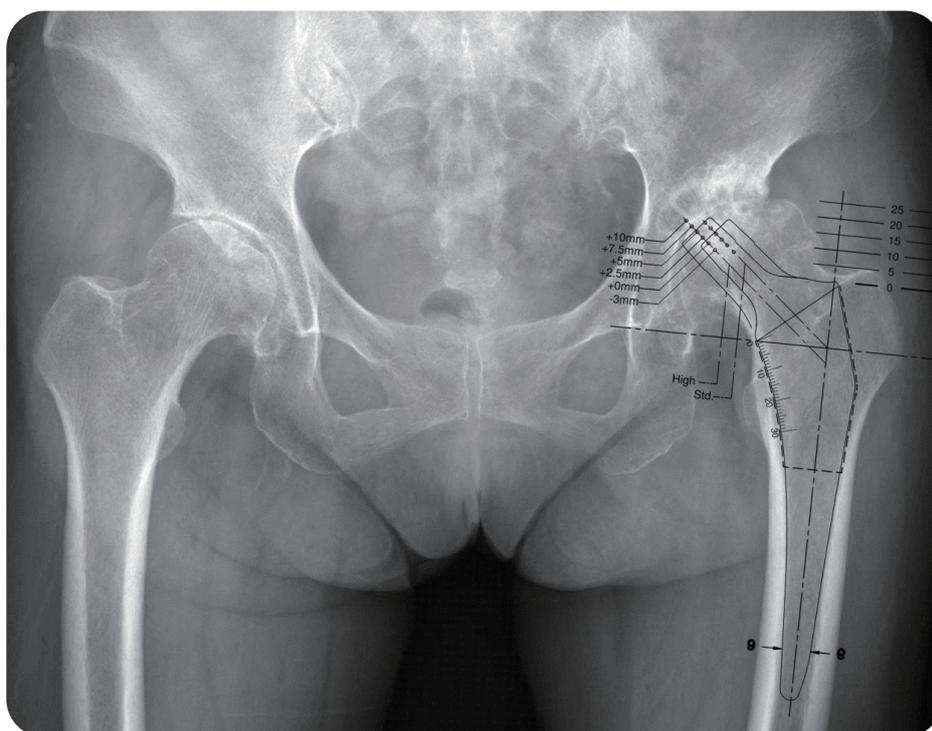
I. 大腿骨ヘッドのインパクション

術前計画と テンプレティング

術前計画は、最適なステム長、大腿骨頸部の切除位置、適切なネック長の決定に不可欠です。正確な大腿骨コンポーネントの選択は、対象とする大腿骨のX線検査による前後（AP）像および側面（ML）像の評価から始まります。患側の評価に役立つよう、AP像は両側股関節を入れて撮影します。これらのX線画像から脚長差、大腿骨オフセット、回旋中心を推定し、生体力学的に安定した股関節を再建します。

UTF Reduced ステムは、皮質骨に対する内外側面での接触に応じて三次元的安定性が得られるよう設計されています。#00 以外の全サイズのステムでスタンダードオフセットとハイオフセットの選択が可能です。骨幹端部の髓腔に最も適合するステムサイズを術前にテンプレティングすることをお勧めします。テンプレートには、大腿骨ヘッドとネックの各組み合わせのネック長とオフセットが表示されています（ヘッドの材質と直径に応じて -3 ~ + 10 mm のネック長が選択できます）。

インプラントの最終決定は、寛骨臼カップの位置、カップサイズ、股関節の回旋中心を考慮して行う必要があります。



I. 大腿骨ヘッドのインパクション

大腿骨ヘッドトライアルを用いて、最終の仮整復を行い、安定性と脚長を確認します。適切な大腿骨ヘッドサイズを決定後、清潔で乾燥したテーパ部に大腿骨ヘッドを徒手的に捻じりながら嵌合させます。

大腿骨ヘッドインパクターとユニバーサルハンドルを接続し、大腿骨ヘッドがしっかり挿入されるまで大腿骨ヘッドを軽くたたきます。



Instruments



大腿骨ヘッドトライアル



大腿骨ヘッドインパクター



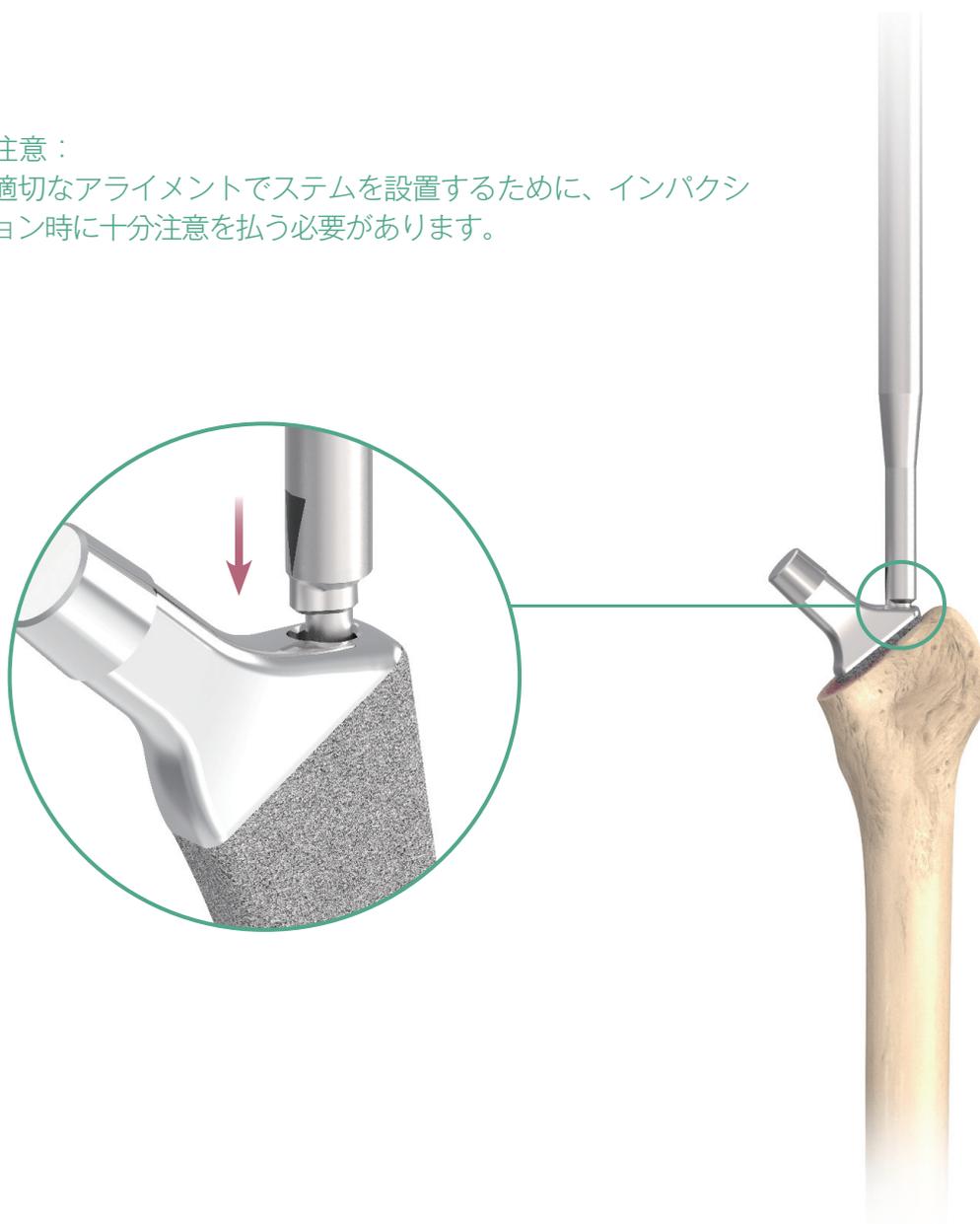
ユニバーサルハンドル 140mm

H. ステムのインパクション

ストレートステムインパクトまたはカーブドステムインパクトを用いて、ステムをインパクションし、ステムのコーティング面の最も中枢側の部分が頸部骨切り面と一致するまでステムを挿入してください。

注意：

適切なアライメントでステムを設置するために、インパクション時に十分注意を払う必要があります。



Instruments



ストレート ステムインパクト
(Long Tip)

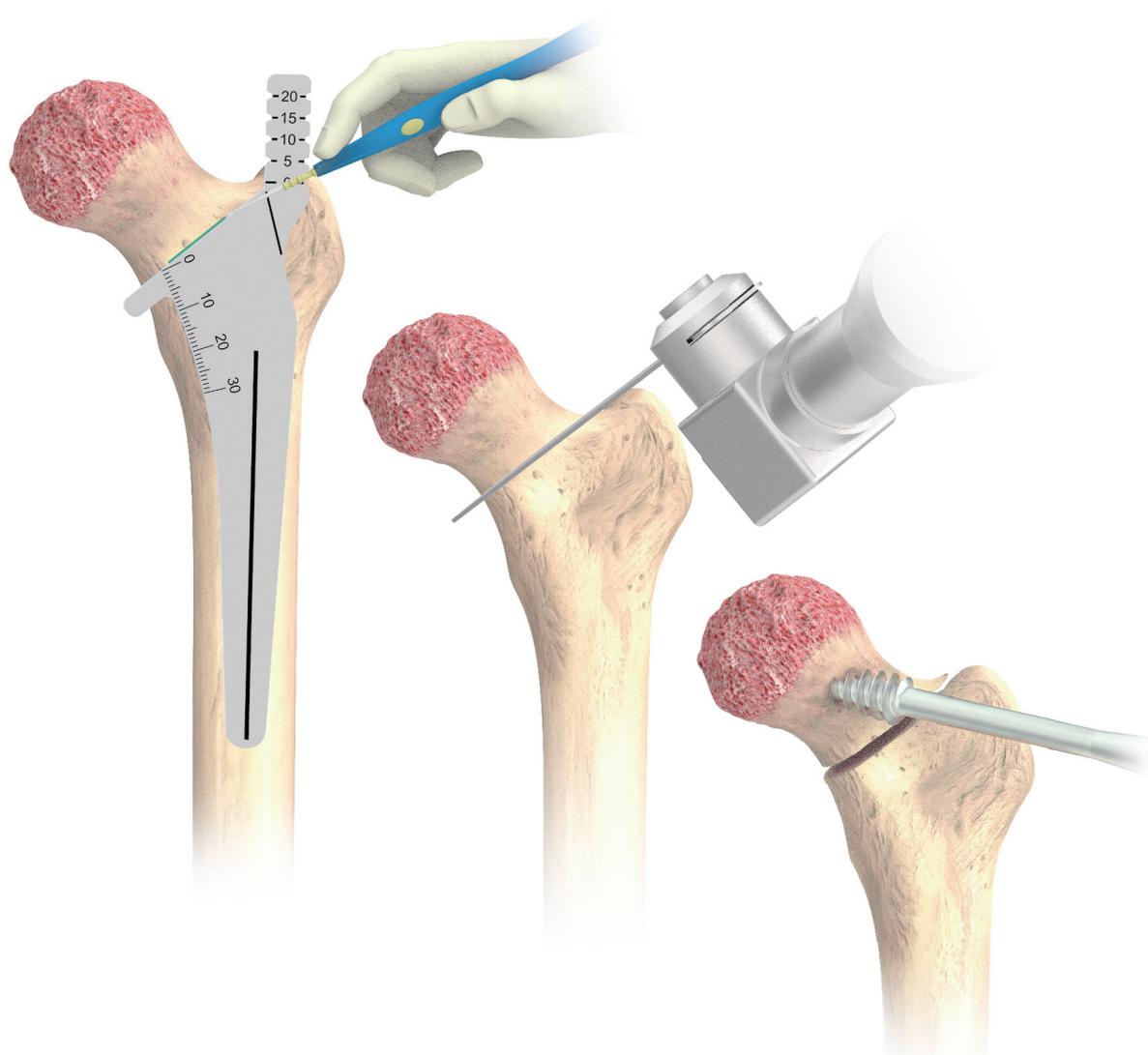


カーブド ステムインパクト
(Long Tip)

A. 大腿骨頸部骨切り

術前計画のテンプレティングにおける、小転子からの距離（約10～15mm）を参照し、大腿骨頸部の骨切りレベルを決定します。

UTF Reduced ステム ネックリゼクションガイドを大腿骨の骨軸に沿って置きます。電気メスで切除ラインをマーキングし、ボーンソーで大腿骨頸部の骨切りを行います。骨頭抜去器で大腿骨頭を抜去します。



Instruments



UTF Reduced ステム
ネックリゼクションガイド



モーター型 T ハンドル



骨頭抜去器
(ハドソニック用)

B. 大腿骨髄腔の開孔

ブローチハンドルにモジュラーカッティングチゼルを接続し、梨状窩の外側 / 後方より大腿骨髄腔への適切なエントリーポイントを作成します。



Instruments



モジュラーカッティングチゼル



UTF Reduced /
UCP ステム用
ストレートブローチハンドル



UTF Reduced /
UCP ステム用
シングルオフセットブローチハンドル



UTF Reduced /
UCP ステム用
デュアルオフセットブローチハンドル

G. ステムの挿入

トライアルによる仮整復後、ブローチを抜去し、クイックコネクホルダーを用いてステムを挿入します。ステムの肩にあるインサーションホールにホルダーをしっかりと装着します。ホルダーを軽くハンマーで叩き、髄腔内にステムを挿入します。



注意：
クイックコネクホルダーは最終的なインパクションのためではなく、インプラントのポジショニングを目的としています。器械が破損しないよう、インパクションを行う場合は軽く行ってください。

Instruments



ストレート クイックコネクホルダー

F. トライアルによる仮整復

ステムサイズに対応した UTF Reduced ステム ネットライアル（スタンダード、ハイオフセット）を UTF Reduced ステム ブローチに取り付けます。大腿骨ヘッドトライアルを用いて、予定されたヘッド径およびネック長で仮整復を行います。



ブローチ サイズ	ネックトライアル	
	STD	HO
	#0 - #00 ※	#0
	#1 - #4	
	#5 - #8	
	#9 - #12	
	#13 - #14	

※サイズ #00 は UTF Reduced スタンダードネックのみ

Instruments



UTF Reduced
ステム ブローチ



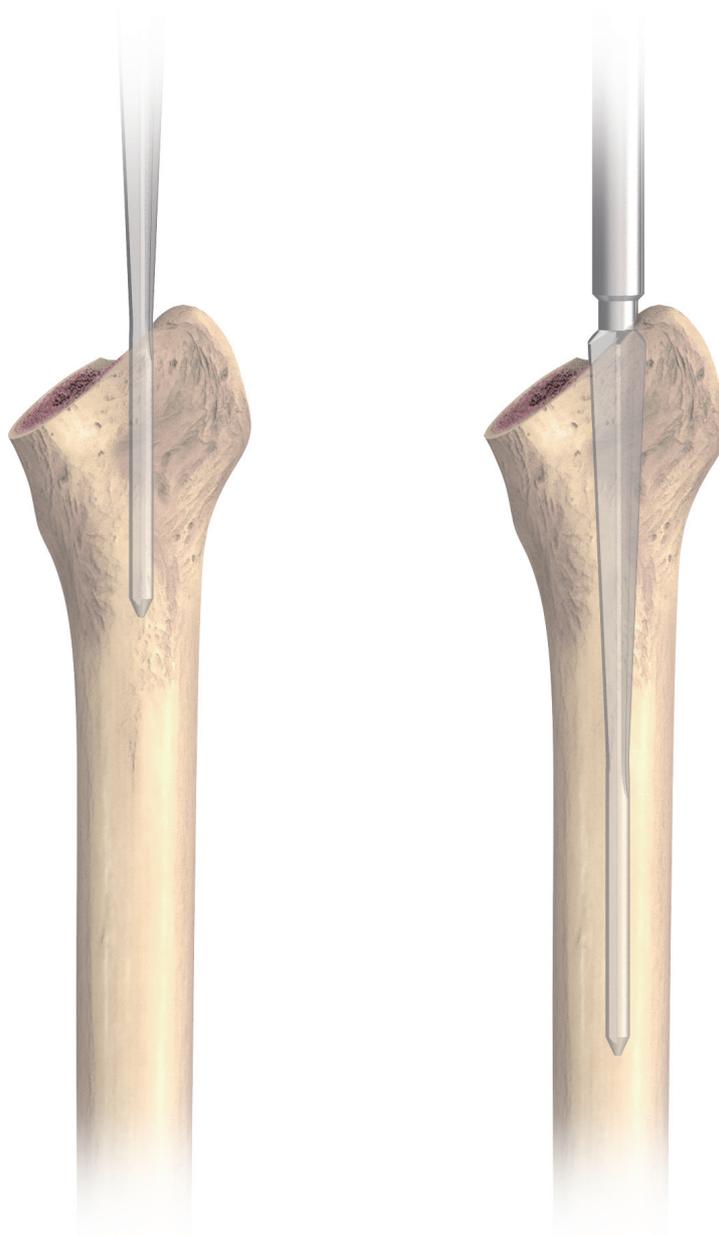
UTF Reduced
ステム ネットライアル



大腿骨ヘッド トライアル

C. スターターリーミング

スターターリーマーをモジュラー型 T ハンドルまたはパワーツールに装着し、大腿骨髄腔に刺入します。大腿骨軸との正しいアライメントを確保します。



Instruments



モジュラー型 T ハンドル



スターターリーマー

D. ラテラライジング

外側から大腿骨髄腔にエントリーすることにより、ステムの内反アライメントを防止できます。チャンネルファインダーラaspを徒手的に挿入し、大転子外側を掘削することで、近位大腿骨髄腔外側孔を拡大させます。このステップは、その後のブローチングとステム挿入のため、大腿骨軸を判断するために役立ちます。



Instruments



チャンネルファインダーラasp

E. 大腿骨のブローチング

人工股関節置換術の様々な手術アプローチに対応できるよう、複数のブローチハンドルを準備しています。

スターターブローチは、その後のブローチングにおけるブローチの向き基準となります。

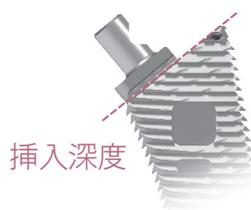
小さいブローチから順に、ブローチハンドルに取り付けます。骨切りラインの下方にブローチの刃が完全に埋没するまで、適切にブローチの方向を維持しながら、大腿骨の軸に沿ってブローチングを開始します。

術前計画でテンプレティングされたサイズまで、大腿骨髄腔を順次拡大していきます。最終ブローチの軸方向および回旋の安定性を確認します。



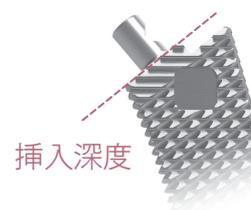
注意：

サイズ #00/#0 とサイズ #1 ~ #14 のブローチの挿入深度は異なります。



挿入深度

#0 & #00



挿入深度

#1 ~ #14

注意：

ブローチの ML の寸法はインプラントと同じく Line-to-Line です。

Instruments



UTF Reduced /
UCP ステム用
ストレートブローチハンドル



UTF Reduced /
UCP ステム用
シングルオフセットブローチハンドル



UTF Reduced /
UCP ステム用
デュアルオフセットブローチハンドル



スターターブローチ



UTF Reduced
ステムブローチ

販売名：UTF Reduced ステム
承認番号：23000BZX00194000

販売名：United ヒップシステム
承認番号：22900BZX00405000

販売名：United セラミックヘッド BIOLOX delta
承認番号：22900BZX00418000

販売名：U-Motion II PS カップシステム
承認番号：23000BZX00204000

販売名：UTS フェモラルステム
承認番号：23000BZX00300000

202602(2)R0



© 2021 United Orthopedic Japan Inc.

製造販売元

ユナイテッド・オーソペディック・ジャパン株式会社
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい5-1-2
横浜シンフォステージ ウェストタワー10階
TEL 045-620-0741 FAX 045-620-0742

United ロジスティクスセンター  045-620-3415

販売店

